三和の軽量電動リモコンシャッター

サンオートAD/サンオートAD CP/潮彩（しおさい）

SA6CR形 開閉機

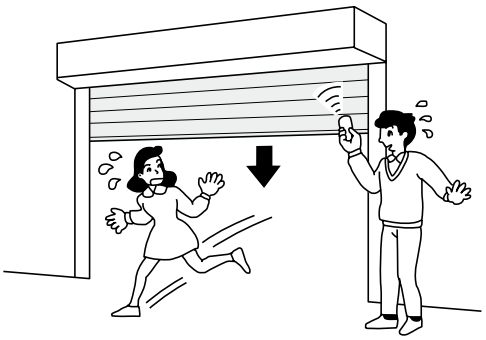
取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・お施主様へ
この取扱説明書を実際にご使用される方へ必ずお渡しください。

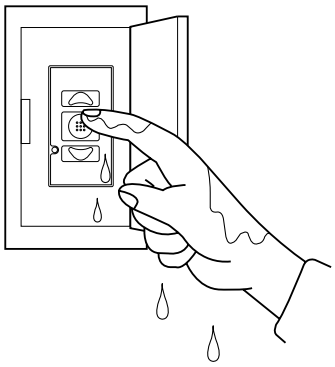
三和シヤッター工業株式会社

ご使用上の注意

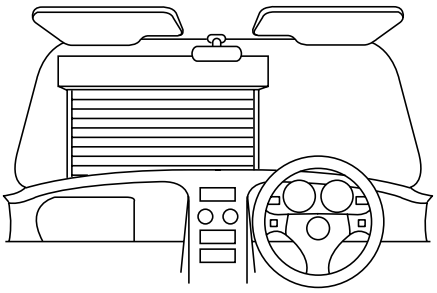
警告： 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。



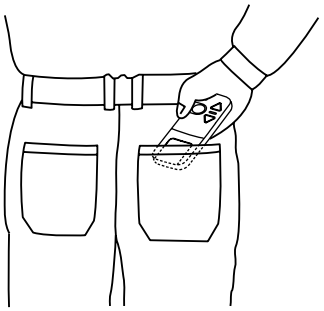
シャッター開閉中は、人や車の出入りは絶対におやめください。はさまれると危険です。



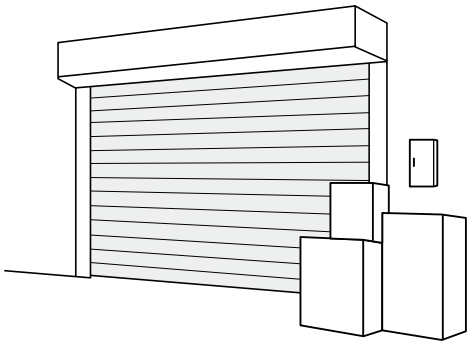
ぬれた手での操作はやめてください。感電のおそれがあります。



シャッターは、必ず見える位置から操作してください。シャッターの下に人がいたり物があったりした場合、はさまれるおそれがあります。



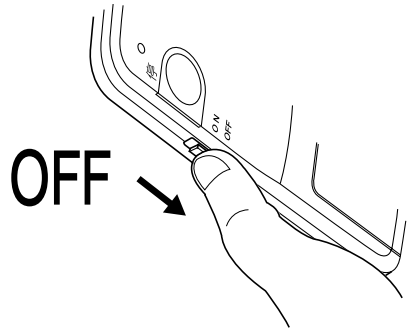
お尻のポケットには絶対にリモコンを入れないでください。意図せぬ誤作動やリモコンが破損するおそれがあります。



押ボタンスイッチのまわりには、障害物となる物を置かないでください。緊急のとき操作できません。

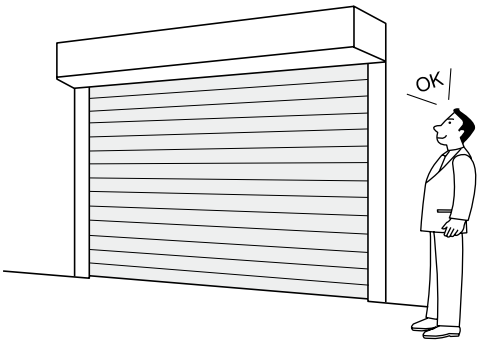
ご使用上の注意

⚠ 警告： 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

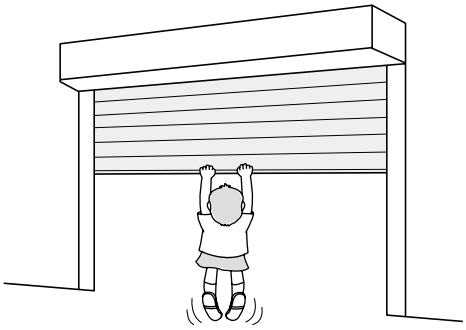


リモコン使用後は、ON-OFF 切り替えスイッチを OFF にしてください。ON のままですと、誤って操作ボタンが押された場合に、シャッターが開閉して危険です。

シャッターにハシゴなどを立て掛けて作業をしないでください。シャッターが動いて転落するおそれがあります。

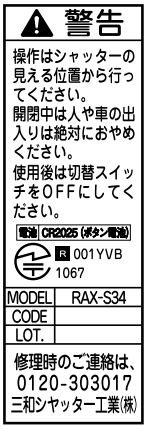


シャッターの開閉が完全に終了するまで離れないでください。緊急時の停止操作ができません。

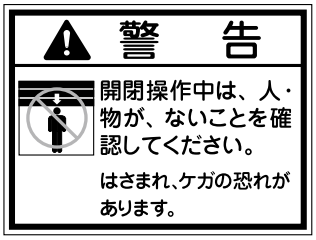


シャッターにぶらさがらないでください。はさまれたり、落下して重傷を負うおそれがあります。

当商品には、お客様にとくに注意して正しくご使用いただくために「警告ラベル」をリモコン裏面・押ボタンスイッチのフタに貼り付けてあります。
十分理解されたうえでご使用ください。



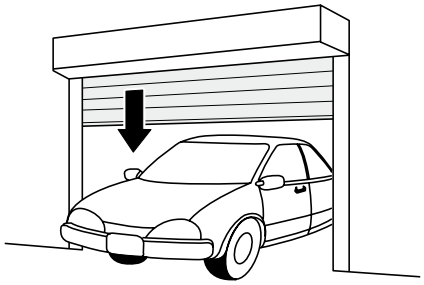
〈リモコン〉



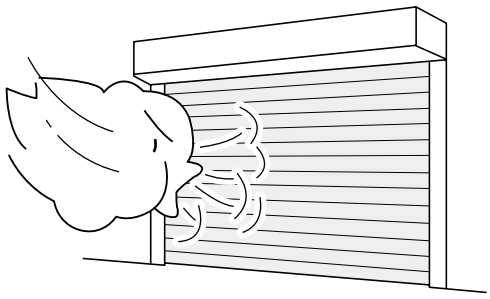
〈押ボタンスイッチ〉

ご使用上の注意

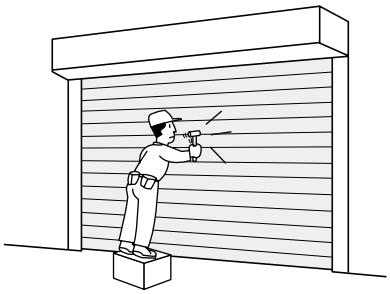
⚠ 注意： 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。



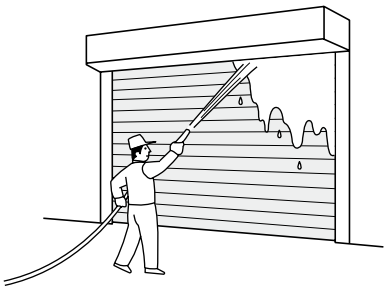
シャッターの開閉に支障となるような器物を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。



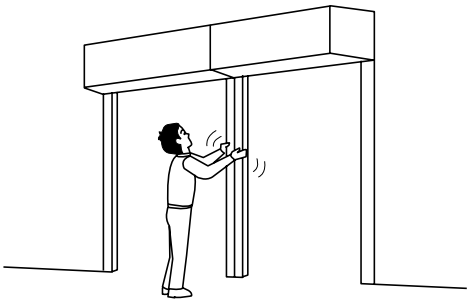
台風など強風時、シャッターを開閉しないでください。シャッターが壊れるおそれがあります。



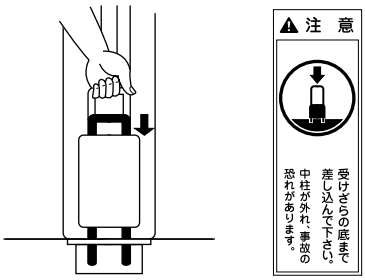
シャッターの改造、分解は行わないでください。故障または性能低下の原因となります。



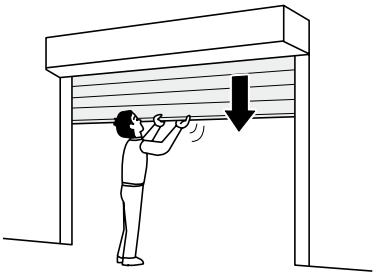
スイッチ・制御盤など、電気部品の周辺には水をかけないでください。漏電、誤作動などの故障の原因になることがあります。



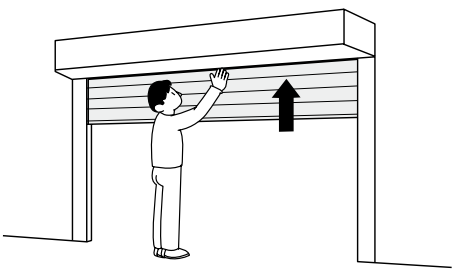
シャッターが１ヵ所２連以上ある場合には、必ず中柱を取り付けてからシャッターを閉めてください。



中柱の上げ落しは受けざらの底まで差し込んでください。中柱が外れ、事故のおそれがあります。

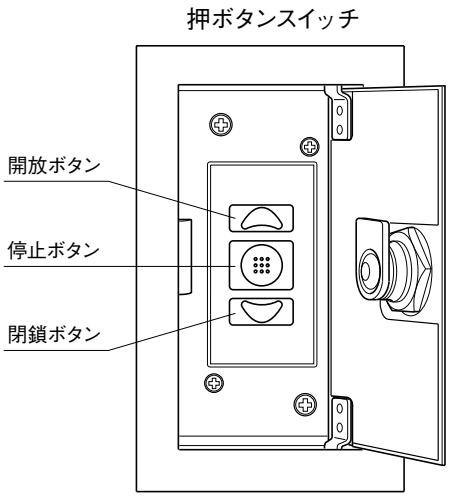


シャッター動作中にシャッターカーテンを引っ張ったり、激しく揺すったりしないでください。障害物検知装置が作動して、止まる場合があります。



シャッター開閉中は、シャッターカーテンに手をふれないでください。まぐさの間に手をはさむおそれがあります。

●押ボタンスイッチの操作（オプション）



※押ボタンスイッチは上記以外の場合もあります。

開放するとき

開放ボタン を押します。全開すると自動的に止まります。

途中で止めるとき

停止ボタン を押すと任意の位置で止まります。

閉鎖するとき

閉鎖ボタン を押します。全閉すると自動的に止まります。

※閉鎖途中で開放する場合は、まず停止ボタン を押してから開放ボタン を押してください。

※２つ以上のボタンを同時に押さないでください。故障の原因になります。

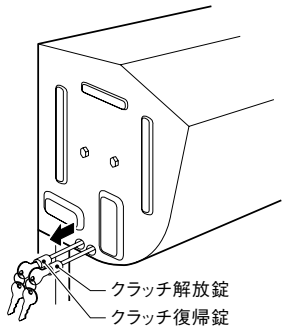
●停電時の操作

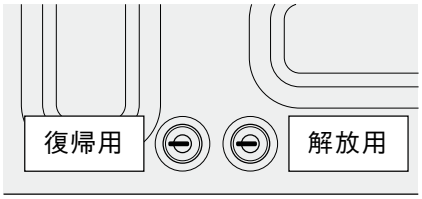
⚠ 警告

- 「緊急必要時以外」は停電復帰を待ってから電動で操作を行ってください。やむをえず操作する場合は、下記の事項を確認してください。ただし、エコロータの場合は三和シヤッター工業（株）へ連絡してください。
- 高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。
- シャッター開閉中は、人や車の出入りは絶対におやめください。はさまれると危険です。
- 操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前にシャッターの電源を切ってください。
- 電動を手動に切り替えた場合、急に動き出す場合がありますので、シャッターカーテンにハシゴなどを立て掛けて作業しないでください。

■手動操作を行う場合

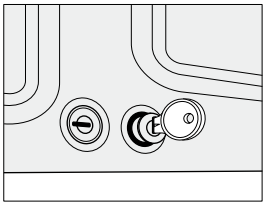
屋外側にシャッターケースがある場合

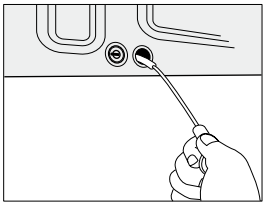


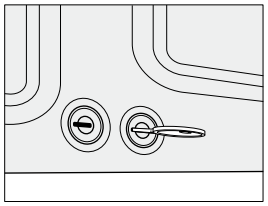


停電時に手動でシャッターをやむをえず操作させたい場合は、以下の手順で操作してください。

シャッターの電源を切ってください。
下図を参照して、クラッチ解放錠を強く引いてください。手動でシャッターを操作できます。
手動操作が完了しましたら、必ずクラッチ復帰錠を強く引いてください。
手動で操作できないことを確認してください。
シャッターの電源を入れてください。

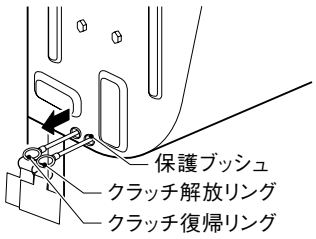

解放用シリンダーに錠を差し込み、反時計回りに90度回します。

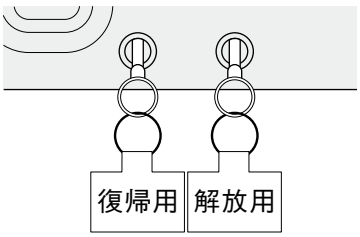

錠がついたまま、下方向に強く引きます。手動でシャッターを操作できます。


手動操作が完了しましたら、クラッチ解放錠をもとの状態に戻してください。

その後、クラッチ復帰用シリンダーに錠を差し込み、解放用の場合と同様に復帰操作してください。

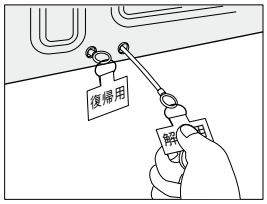
屋内側にシャッターケースがある場合



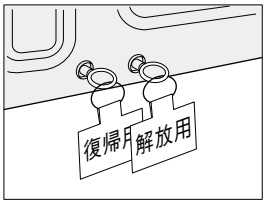


停電時に手動でシャッターをやむをえず操作させたい場合は、以下の手順で操作してください。

シャッターの電源を切ってください。
下図を参照して、クラッチ解放リングを強く引いてください。手動でシャッターを操作できます。
手動操作が完了しましたら、必ずクラッチ復帰リングを強く引いてください。
手動で操作できないことを確認してください。
シャッターの電源を入れてください。



クラッチ解放リングを下方向に強く引きます。手動でシャッターを操作できます。



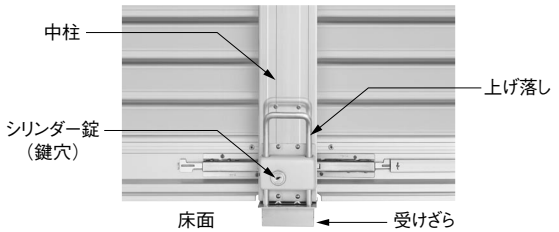
手動操作が完了しましたら、クラッチ解放リングをもとの状態に戻してください。

その後、クラッチ復帰リングで、解放用の場合と同様に復帰操作してください。

●中柱の操作方法

⚠ 注意

●中柱の上げ落しは受けざらの底まで差し込んでください。中柱が外れ、事故のおそれがあります。
●受けざらにたまるゴミや砂は定期的に取り除いてください。受けざらにゴミや砂がたまったままでは中柱の上げ落しが充分差し込めません。このような状態では、耐風強度が著しく低下します。台風などの強風時には、とくに確認してください。
●中柱は重いので、着脱の際は注意してください。



中柱の上げ落しは受けざらの底まで差し込んでください。台風などの強風時にはとくに確認してください。

シリンダー錠付の場合上げ落しは必ず施錠してください。

中柱の取り付け

1. 中柱下部についている上げ落しが上がっているのを確認します（1）。
2. まぐさの位置についているガイド口に中柱上端を当て、押し上げるようにして差し込みます（2）。
3. 受けざらの穴と上げ落しを合わせて中柱を静かに下ろし、上げ落しを受けざらの穴に差し込みます（3）。
4. 上げ落しのキーを鍵穴に差し込み、時計回りに90°回転（¼ 回転）させ、キーを抜いてください。上げ落しが施錠されます。（シリンダー錠付の場合）

中柱の取り外し

1. 上げ落しのキーを反時計回りに 90° 回転（¼ 回転）させ、キーを抜いてください。（シリンダー錠付の場合）
2. 上げ落しを受けざらの穴の中から抜きます（**1**）。
3. 中柱下部をずらし、ガイド口から中柱を引き抜きます（**2**）。